

南武線・鶴見線 要望項目一覧 (14件)

I 輸送力増強.....	2
1 輸送計画の改善	
< 運転本数の増発等 >	
(1) 南武線の増発、車両の増結、快速運転 (継続)	
(2) 南武支線の増発 (継続)	
(3) 鶴見線のダイヤ改善等 (継続)	
< 他路線への乗入れ >	
(4) 南武支線の川崎駅への乗入れ (継続)	
II 利便性向上.....	3
1 駅施設等の整備	
(1) 矢向駅の改札機の増設 (継続)	
(2) 武蔵小杉駅の混雑対策 (継続)	
(3) 武蔵中原駅の混雑対策 (継続)	
(4) 武蔵溝ノ口駅における安全性の確保 (継続)	
(5) 津田山駅ホームの屋根の増設等 (継続)	
(6) 鶴見駅の混雑対策 (継続)	
(7) 老朽駅舎等の改良 (継続)	
(8) 改札口の新設 (継続)	
(9) 中野島駅ホームの改良 (継続)	
(10) 武蔵小杉駅連絡通路の熱気対策 (継続)	

I 輸送力増強

1 輸送計画の改善

<運転本数の増発等>

(1) 南武線の増発、車両の増結、快速運転（継続）

南武線については、沿線全体の鉄道利用者は年々増加傾向にあります。

また、南武線は川崎市を縦貫し、川崎市民にとって最も重要な交通機関でありますので、①立川行き最終電車の繰下げ、②ピーク時やピークサイドの増発（オフピーク通勤の取組と連携して車内混雑の平準化を図る）③車両の増結（長編成化）、④快速運転の朝・夕の導入等、利用者の利便性の向上と輸送力増強に向けた取組を引き続き推進されますよう要望いたします。

（川崎市総合都市交通計画）

(2) 南武支線の増発（継続）

南武支線沿線や臨海部におきましては、新たな企業立地等が進んでいること、また、周辺地域の工場跡地等に共同住宅や商業施設などが建設されたことで、同路線は、より多くの住民や通勤・通学者等が利用する交通機関として、その重要度は高まっております。

こうした中、本市におきましては平成 30 年 3 月に「臨海部ビジョン」を策定し、沿線における新産業創出拠点の形成や交通機能の強化に取り組むことを位置付けたところです。

平成 28 年 3 月のダイヤ改正で貴社のご尽力により、川崎新町～浜川崎間の小田栄駅開業に合わせ、朝通勤時間帯に上下で 3 本が増発されましたが、一層の利便性向上に向けて、運行本数について、更なる増発を要望いたします。

(3) 鶴見線のダイヤ改善等（継続）

鶴見線は、沿線の通勤・通学者や住民にとって大切な交通手段であります。平成 30 年 4 月に鶴見小野駅を最寄り駅とする「横浜市医師会聖灯看護専門学校（総定員 520 名）」が開校し、沿線の利用者が大幅に増加しました。平成 30 年 3 月のダイヤ改正では、専門学校の下校時間に合わせ、弁天橋～鶴見間に 1 往復の増発の対応をしていただきましたが、混雑のため学生だけでなく地域住民の方々も車両に乗り切れない状況が発生しています。

については、通勤・通学時の増発など輸送力を確保されるよう要望いたします。

<他路線への乗入れ>

(4) 南武支線の川崎駅への乗入れ（継続）

南武支線沿線や臨海部におきましては、新たな企業立地等が進んでいること、また、周辺地域の工場跡地等に共同住宅や商業施設などが建設されたことで、同

路線は、より多くの住民や通勤・通学者等が利用する交通機関として、その重要度が高まっております。

こうした中、川崎市におきましては平成 30 年 3 月に「臨海部ビジョン」を策定し、沿線における新産業創出拠点の形成や交通機能の強化に取り組むことを位置付けたところです。

ついては、沿線地域等の利便性向上のため、南武支線の川崎駅への乗り入れを要望いたします。

(川崎市総合都市交通計画)

II 利便性向上

1 駅施設等の整備

(1) 矢向駅の改札機の増設（継続）

矢向駅周辺では、近年、従前にあった事業所から新たに都市型住宅や研究施設等へと土地利用転換が進んだことに伴い、当駅乗降客数は平成 16 年度まで緩やかな減少を続けておりましたが、平成 17 年度に大きく増加に転じてから、その後は増加傾向であり、朝のラッシュ時における改札口は非常に混雑しておりますので、改札機を増設されるよう要望いたします。

(2) 武蔵小杉駅の混雑対策（継続）

武蔵小杉駅については、南武線ホームは朝ラッシュ時には駅構内で著しい混雑が発生しております。平成 30 年 4 月に南武線ホームの一部拡幅がなされ、南武線利用者と横須賀線利用者とのホーム上における輻輳が一定程度緩和されたところですが、より一層の安全性向上等に向けて、早急なホームドアの設置等の混雑・安全対策に取り組まれるよう要望いたします。

(3) 武蔵中原駅の混雑対策（継続）

ラッシュ時の改札口は、改札口へ向かう利用者と、改札口を出て連絡歩道橋へ向かう利用者が交錯し、混雑している状況です。

ついては、ラッシュ時の改札口付近の歩行者動線が交錯しないよう、適切な混雑対策に取り組まれるよう要望いたします。

(4) 武蔵溝ノ口駅における安全性の確保（継続）

武蔵溝ノ口駅は、コンコースから上りホームまでの通路及び階段の幅員が狭く、朝のラッシュ時には階段を昇降する乗客で著しく混雑している状況となっております。

貴社のご尽力により、平成 16 年 7 月より上りホームが延伸され、このような状況が一部緩和されましたが、引き続き利用者の安全性確保と移動の利便性向上の

ため、上りホームの階段拡幅等の安全対策を実施されるよう要望いたします。

(5) 津田山駅ホームの屋根の増設等（継続）

津田山駅はホーム屋根が短いため、雨天時の乗降において足元が滑りやすい状況であり、利用者は不便を感じております。ついては、駅改良（自由通路・橋上駅舎化）に併せてホーム全体を覆うように屋根を増設されるよう要望いたします。

(6) 鶴見駅の混雑対策（継続）

現在、横浜市では京浜臨海部再編整備マスタープランの改定作業を進めており、今後、鶴見線沿線では、土地利用の転換などが進み、利用増が見込まれることから、混雑が著しい鶴見駅の混雑対策に取り組まれるよう要望いたします。

(7) 老朽駅舎等の改良（継続）

バリアフリー化等の施設改善にあわせ、老朽施設の更新や利用者の利便性向上の観点から、駅舎、跨線橋、トイレ等の駅施設の改良を早急を実施されるよう要望いたします。

また、車いすやベビーカー利用者等が容易に利用できる拡幅改札口の増設と鶴見線のトイレが無い駅についてのトイレ設置を要望いたします。

(8) 改札口の新設（継続）

南武線については、改札口が片側にしかない駅がありますが、利用者は駅の横にある踏切を横断しなくてはならず、大変不便でかつ著しく混雑している状況となっております。

利用者の安全性確保と利便性向上のため、向河原駅西側、平間駅西側に改札口を新設されるよう要望いたします。

南武線駅アクセス向上策案の対象駅については、整備されるまでの間は、次の位置に改札口を新設されるよう要望いたします。

- ・久地駅南側、宿河原駅北側

(9) 中野島駅ホームの改良（継続）

中野島駅は乗降客数が近年増加傾向にあります。ホームが大変狭く、混雑時には大勢の人であふれて著しく混雑している状況となっております。

ついては、利用者の安全確保の観点から、改札口付近の滞留スペースや下りホームの一部を拡幅されるよう要望いたします。

(10) 武蔵小杉駅連絡通路の熱気対策（継続）

武蔵小杉駅の南武線と横須賀線・湘南新宿ラインをつなぐ連絡通路において、非常に暑くなる夏場の対策として、通気口の設置やエコクーラーの配置などの改善を行っていただいたところですが、引き続き、利用者の快適な通行環境を確保

していただくよう要望いたします。